

研究課題番号	2RF-1902
研究課題名	海拔以下の砂漠での太陽光を利用して安価で恒久的に電力・水・肥料を生産するシステムの検証
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	小川 敬也

1. 委員の指摘及び提言概要

社会実装のためのヨルダンでの情報収集と交流を行い、WEA スキームのモデルの構築とコスト評価、新規ルテニウム系触媒の高活性の発見、そして CO₂排出量が低減されるかを定量的に評価している。魅力的なスキームの提案とコスト評価などをコロナ禍で国際研究の推進が行われたことは評価できる。野心的な取り組みであり、現地の状況の変動にもかかわらず、大胆果敢に取り組んで一定の成果を上げてきていることは評価できる。

外国現地との折衝と技術開発を一つのプロジェクト内で同時に手がけることの困難さが浮き彫りになったと考える。当初計画の国際プロジェクトの凍結に見舞われながらも、最終目標を見失わずに所定の成果をあげた。研究成果に基づいて、査読付き論文を進めることが期待される。ヨルダンとの人的ネットワークを活用して、さらなる国際共同研究への展開が期待される。変化する国際関係の中、柔軟な対応で実現の道を辿ることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A